

## 事業中評価チェックリスト

				番号	9
事業名	道路事業(交通安全)	路線・河川 ・地区等名	一般国道 287 号 しょうぶ 菅蒲工区	施行 場所	にしおきたまぐんしらたかまちしょうぶ 西置賜郡白鷹町菅蒲
評価該当基準	新規事業採択後5年間を経過した時点で実施中の事業 (山形県(県土整備部)公共事業評価実施要領 5-(1)-イ-(イ))			実施主体	山形県
事業採択年度 目標年度 [当初目標年度] (過年度評価時目標)	R2 R11 [R11] (-)	全体事業費(進捗度%)	12.7 億円 (71.4%)	事業延長等	L=520m
		内工事費	7.6 億円 (59.9%)	供用延長等	L=0m
		内地・補償費	3.4 億円 (87.9%)		
		内測試費等	1.7 億円		
<b>事業の目的(地域性・特質性)</b>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>本路線の事業区間は片側歩道(W=2.0m)で路肩が狭い上に交通量が多く、トラック輸送等の大型車両が特に多いため、歩行者のすぐ脇を多くの大型車等が通り、児童の通学等が大変危険な状況となっている。</li> <li>さらに、事業区間前後で幅員が急激に狭くなることや見通しの悪いカーブがあるなど、通行車両にも危険な道路となっている。</li> <li>ついては、道路拡幅及び線形改良を行い、十分な幅員の確保及び危険なカーブの解消を実施することで、歩行者にも通行車両にも安心な道路を提供するものである。</li> </ul>					
<b>事業概要(主要工事内容)</b>					
◆主要工事:道路拡幅 事業延長 L=520m 計画幅員 W=6.5(9.5)[14.5]m					
<b>事業の実施状況</b>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>R2 路線測量、地質調査、詳細設計</li> <li>R3 用地調査、用地補償、歩道橋工事</li> <li>R4~R6 用地補償、道路改良工事</li> </ul>					
<b>上位計画、その他事業との関係(各上位計画で定めている項目を表すコード)</b>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>第4次山形県総合発展計画 → 暮らしの様々なリスクへの対応力の強化(4-2)</li> <li>山形県道路中期計画 2028 → 人にやさしく安全・安心な道路整備に向けた多様な取組の推進(施策⑤)</li> </ul>					
<b>今後の事業の見直し</b>					
・用地補償については、令和7年度に完了見込み。計画的に工事を進め、令和11年度までの供用を目指す。					
<b>事業を巡る社会経済情勢等の変化</b>					
① 国、県の政策や計画の転換等					
R2年3月:「第4次山形県総合発展計画」策定					
H31年3月:「山形県道路中期計画2028」策定(R6年3月改訂)					
R3年3月:「山形県自転車ネットワーク計画」策定(地域ルートC1)					
上記計画に位置づけられた施策や方針に基づき取り組む事業として推進している。					
② 財政状況の変化					
道路整備の事業費が減少している厳しい状況にあるが、「選択と集中」及び「効率的・効果的な事業の執行」により、投資効果の早期発現を図ることとしている。					
③ 事業実施地域の周辺環境の変化					
周辺環境に大きな変化は見られない。					
④ 地元の協力体制の変化					
地元協力体制は良好であり、変化はない。					
⑤ 利用者見込み者数の大幅な変化					
想定交通量に大幅な変化はない。					
⑥ 代替方策による必要性の変化					
用地を約9割取得済であることから、代替方策はない。また、事業の必要性に変化はない。					
<b>事業の投資効果</b> (凡例)● 貨幣換算し、費用便益分析における便益(B)に計上している事業効果					
○ 貨幣換算する手法が確立されていないものの、事業により得られる効果の例					
投資効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>○通学児童等が安全で安心して歩行できる空間が確保される。</li> <li>○円滑な通行が可能となり、交通事故発生抑制が期待される。</li> <li>○物流の向上・救急医療機関へのアクセス向上が図られる。</li> </ul>				
社会的割引率	B/C	B/Cの代表的 な分析指標	事業目的(交通安全)に対応した費用対効果の算出方法が確立されて		
4%	-		いない。		
2%(参考値)	-				
1%(参考値)	-				
<b>●コスト縮減・○代替案等の可能性</b>					
○用地を約9割取得済であり、計画的に進んでいることから、代替案の可能性はない。					
<b>当初又は前回評価時目標年より延長となる場合の理由(計画どおりの場合は空欄)</b>					
-					
評価区分	継続 A	評価の理由	計画どおりに進んでおり、事業効果を発現させるため、継続としたい。		